

鈴鹿市

市P連ニュース

平成27年
1月

平成27年 1月9日発行

発行: 鈴鹿市PTA連合会

編集: 調査広報部

鈴鹿市PTA連合会 事務局

住所: 鈴鹿市役所別館第3

TEL・FAX: 383-5143

月～金 10:00～15:00

joyofpta@galaxy.ocn.ne.jp



平成26年度 鈴鹿市PTA連合会 講演会

「あした、笑顔になあれ・・・夜回り先生、いのちの授業」

講師 水谷 修さん

鈴鹿市PTA連合会主催による夜回り先生こと水谷修先生の講演会を鈴鹿市民会館で開催しました。

(平成26年11月24日)



【プロフィール】

教員生活のほとんどの時期、生徒指導を担当し、中・高校生の非行・薬物汚染・心の問題に関わり、生徒の更生と、非行防止、薬物汚染の拡大の予防のための活動を精力的に行なっている。

また、若者たちから「夜回り」と呼ばれている深夜の繁華街のパトロールを通して、多くの若者たちとふれあい、彼らの非行防止と更生に取り組んでいる。一方で、全国各地からのメールや電話による様々な子どもたちからの相談に答え、子どもたちの不登校や心の病、自殺などの問題に関わっている。

日本各地での講演などを通して、子どもたちが今直面している様々な問題について訴えている。



「水谷 修さんはなぜ夜回り先生になったのか？」

水谷修さんは、大学卒業後、神奈川県内の進学校の高校教師になりました。友人の定時制高校の教師に「お前は進学校だからいいよな。こっちはくさった生徒ばかりで大変だよ」と言われたそうです。

水谷修さんは、怒って「腐った生徒なんかいない。腐らせただけだろ。そういった生徒をたてなおすのが教育者の仕事じゃないか」と言ったそうです。その後、水谷修さんは転属願いを出して定時制高校に赴任し、生徒との信頼関係を築くために夜回りを始めたそうです。

本当に熱い人ですよ。いかに教育に熱意を持っているのかが伝わります。

永年の経験の上から語られる先生の一言一言には、重みと迫力があり、まさに命をかけて教育現場を駆け回ってこれ、現在でも夜回りを続けていることに、ただただ感動しました。



市P連からお知らせ！代表者会を行っています！



☆代表者会とは？

鈴鹿市内の幼稚園17園、小学校30校、中学校10校のPTA代表者（会長様）向けに年3回開催させていただいている研修会です。それぞれの学校または地域などで抱えている課題や出来事についての情報交換の場として会議を行っています

☆開催日と内容

- ・6月23日 第1回幼稚園代表者会
- ・6月27日 第1回小中合同代表者会
- ・9月26日 第2回幼稚園代表者会
- ・10月16日 第2回小中合同代表者会
- ・2015/2月 第3回幼稚園新代表者会（予定）
- ・2015/2月 第3回小中合同新代表者会（予定）



☆10月16日 第2回小中合同代表者会の主な内容

鈴鹿チャイルドガーディアン連絡会

子どもに防犯の習慣をつけさせましょう！子どもにくり返し防犯ポイントを教えましょう

誘拐（ゆうかい）されないよう5つの約束（やくそく）を守（まも）りましょう

- ①あそびに行くときは、どこで、だれとあそぶか、いつまでにかえるか、いえのひとにいつからでかけます。
- ②ひとりではあそびません。
- ③知らないひとにはついていきません。
- ④だれかにつれていかれそうになったら、「たすけて」とおごえてたすけをよびます。
- ⑤ともだちが、知らないひとにつれていかれそうになったら、おごえてたすけをよびます。

かわいいおもしろいしたら、おうちのひとやせんせいにかならず伝えてください！

☆e-ネットキャラバン e-ネット安心講座

～子どもたちを取り巻く実態とその対処法について

子どもたちの中にも、携帯・スマホなどインターネットの世界がひろがり続けています。これらは、とても便利な反面、トラブルに巻き込まれる可能性もあることを具体的な事例を挙げながら説明していただきました。広がるネット社会の中で家族でのルールづくりの大切さなどを話し合いました。

☆その他・情報交換・今後の予定など

代表者会では、身近なことから子どもたちのことを考え、よりよく成長するために話し合われています。



第70回東海北陸ブロックPTA研究大会 岐阜大会 IN 下呂

第70回東海北陸ブロックPTA研究大会 岐阜大会in下呂が10月24,25日、下呂市内を会場に開幕され参加してきました。大会の開催に当たり私たちは元気で笑顔で、虹のような大きな夢を子供たちに持たせ、自立した子供の育成を願い「元気・笑顔・レインボー・大きな夢を子供たちに」という大会テーマを持ち、初日は、6会場で6分科会が開催されていました。25日は、会場を下呂交流会館「温アリーナ」に移して、全大会が開かれ、脳科学学者澤口俊之氏の記念講演も行われました。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。



さて、寒さの厳しい日々が続きますが皆様いかがお過ごしでしょうか。私は毎朝あたたまって布団の中から出るのがだんだん辛くなってきました。寝るときには冷たい布団も起きるときには暖かく気持ちのいいものです。ところでこの間気になる記事を見つけました。布団毛布の「あったか効果」というものです。毛布一枚の位置によって暖かさの度合いが変わってくるそうで、たぶん私も同じですが、みなさんも毛布をかけて布団を上にかけていると思います。しかし、体の上に直接毛布をかけることは「あったか効果」を得ることが出来ないそうです。暖かい状態を作るには「羽毛布団を直接体に掛けること」が不可欠だそうです。寒さを軽減したいのなら体の上には羽毛布団、その上に毛布という順番を鉄則にしましょう。毎日暖かい布団で十分な睡眠をとり寒い冬を乗り越えていきましょう！

調査広報部 萩原 智美